



新しい経済システムへの移行

令和7年6月9日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

アメリカの関税政策は、新しい世界の経済システムへの移行を明確に意図するものであるならば、全ての国家が自国経済の構築とその政策の作成へ新しい判断を要求されるものである。

これらは変化という新しい未来は新たな経済システムを世界が有するということである。これらは今日の自由経済システムと自由貿易システム、さらに資本主義や金融経済など、過去のブラックマンデーの時や世界恐慌時に、それら資本が新しい未来の買いつくしたことと同じ現実が模索されていることは容易に予測できるものである。

これらにおいて新たな世界の経済システムの構築が西洋陣営において模索されるとき、それら現実に対抗することはもはや不可能なのである。

それらは資本力が決定する経済の原則において、それに抵抗することは不可能なのである。

これらにおいて経済の安全保障は正しい国家の施策であることが理解できるものである。そして経済原則とルール of 公正さは唯一世界の合意を提案できる現実であることは正しいのである。

これらは既存現実の崩壊と新しい経済システムの構築が、今日のトレンドであるデジタル経済とともに模索されることは予測できるものである。

これらは自国経済の運営を新たに政治決定とともに要求されるものであり、これら変化において国家財政の状況とともに未来を安易に予測できるものである。

これらが世界政治の真相であるならば、政治は明確にその選択を要求されるものである。

またこれらが新規外交政策とともに未来を求めることは正しい国家の運営であることは理解できるものである。